

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) a		選択	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
萩原 学	講師控室	Kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>この科目では、総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際について理解するとともに、ソーシャルワークにおける援助関係の形成、ネットワークの形成について理解することを目的とする。</p> <p><概要>教員が学生に対し、現代社会における生活課題が多様化・複雑化していることや、分野や領域を超えた関りの重要性を教え、今後ワーカーとして個人と環境の接点に働きかけることができるように、教科書や資料をもとにグループワークを取り入れた講義を行うこととする。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	教科書や配付資料を参考に授業外でも地域資源の把握など調べ学習を行うようにする。基礎知識となる理論や専門用語などは、しっかり押さえる。(予習復習)				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門] /編一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	総合的かつ包括的な支援の考え方について理解し、説明できる。			HC(1)(2)(3)	
②	家族支援、地域支援、災害支援の実際について理解し、方法や留意点を説明できる。			HC(2)(3)(4)	
③	援助関係の形成について理解し、その意義や方法、留意点について説明できる。			HC(1)(3)(4)	
④	ネットワークの機能や構築プロセス、手法について理解し、説明できる。			HC(2)(3)(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する		2
2	[総合的かつ包括的な支援の考え方] 分野や領域を超えた問題解決のかかわりについて学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第1節を精読する。事前課題に取り組む。		4
3	[家族支援①] 家族を取り巻く社会状況、家族が抱える複合的な課題、家族に関する基礎理論について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第2節を精読する。事前課題に取り組む。		4
4	[家族支援②] 家族理解のためのツール、家族支援の実際について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第2節を精読する。事前課題に取り組む。		4
5	[地域支援①] 課題の把握から解決に至るプロセスについて学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第3節を精読する。事前課題に取り組む。		4
6	[地域支援②] 多様な団体・組織・機関との関係との共同や連携の具体的な方法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第3節を精読する。事前課題に取り組む。		4
7	[地域支援③] 専門職としての知識・スキル、基礎的な考え方(価値)について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第3節を精読する。事前課題に取り組む。		4
8	[非常時や災害時の支援①] 非常時や災害時における生活課題や支援の目的・留意点について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第4節を精読する。事前課題に取り組む。		4
9	[非常時や災害時の支援②] 災害ソーシャルワークの実際について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第4節を精読する。事前課題に取り組む。		4
10	[ソーシャルワークにおける援助関係の形成①] 援助関係形成の意義と概念について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第2章第1節を精読する。事前課題に取り組む。		4
11	[ソーシャルワークにおける援助関係の形成②] 援助関係の形成方法と留意点について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第2章第2節を精読する。事前課題に取り組む。		4
12	[ネットワークの形成①] ネットワーク、ネットワーキングの特徴と政策動向について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第3章第1節を精読する。事前課題に取り組む。		4
13	[ネットワークの形成②] ネットワークの性質、機能、構築のプロセスと手法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第3章第1節を精読する。事前課題に取り組む。		4
14	[ネットワークの形成③] コーディネーションについて学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第3章第2節を精読する。事前課題に取り組む。		4
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	教科書第1～3章の内容を復習する。事前課題に取り組む。		6
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合 能力 指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に試験を実施して、科目内容の理解を評価する。 試験範囲は、講義で用いた教科書、配付資料から出題する。 試験形式：筆記試験 問題形式：選択式・記述式				Teams にて解答例を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワーク等にて、取組みの姿勢を評価する。 毎回授業終了後にリアクションペーパーを回収し、理解度や学習意欲等を評価する。				授業中や講義の最後に評価を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教 員 の 実 務 経 験	社会福祉士として社会福祉協議会にて、個別支援から地域支援までの 22 年の実務経験。 現在、地域共生社会の実現を目指し障害児通所支援事業を経営、児童指導員としての実務も有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	シラバスの内容に添って、教科書を中心とした講義とグループワークを行う。 教員がソーシャルワーク実践の中で得た知見を交えて紹介し、授業外学習への取組みが深められるようにする。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めないこととする。 ・今後の感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 						